

vol.6

2025.7.15 発行

ハンダタイムズ



桑名工場 マネージャー

S . N

桑名工場でマネージャーを務める S . N 。リーダーシップ・プログラムである「ハンダ塾」に入塾したことで、これまでの仕事観を 180 度変えることになった。管理職としての苦悩と向き合ってきた、その努力と葛藤の軌跡をたどる。

自分を見つめ直し、 人間的にも大きく成長

2018 年に、S . N が勤務していた O 社 とハンダ技研工業株式会社が M & A を行った。その際、赴任してきたマネージャーに「ハンダ塾」の受講を勧められた。ハンダ塾で学ぶ前の自身について、S . N は振り返る。

「自分本位の仕事の仕方をしていました。改善提案を出したとしても、自分が得をするような内容ばかり。態度は悪いし、人間性ができていなかったと思います」。

代表取締役社長であり、「ハンダ塾」の講師をしている吉岡亨浩は、そうした S . N のことも温かく見守り、ときに励まし、支えてくれたという。1 年後の卒業する頃には「仕事ができるのは、まわりの人の支えがあったおかげ」と、思えるようになっていた。

管理職としての最初の壁を 乗り越える

昇給を重ねていく中で、管理職としてのあるべき姿を「ハンダ塾」での学びを軸に模索していくこととなる。

指示をする側となれば、相手に自分の考えを伝えていかなければならない。意思疎通がうまくいかず、当初はつい高圧的な物言いになってしまったこともあった。それが誤りであることは、自分自身が一番よくわかっていて、肩書にふさわしい人物かどうかを周囲は見ていると気づいたとき、自分の考えや伝え方を見直し、一段上のレベルに上げる必要性を痛感。

「昇進するときに会長から『驕らずに頑張ってほしい』と言われました。マネージャーになったからといって偉いわけではなく、自分はあくまで皆の代表者だけ。その感覚は今も忘れていません」。

実際、高圧的に押さえつけたところで、皆の意識は変えられない。そこで S . N は言葉で伝えるだけでなく、自ら動くことを決意。こまめに現場に顔を出してフォローするうちに、メンバーも前向きに自分から取り組んでくれるようになった。

赤字経営からの回復に向けて

S . N の試練はこれだけではなかった。サブマネージャーからマネージャーに昇進した頃、桑名工場で退職者が相次いだ。2023 年当時、桑名工場は不良が続いており赤字経営も 3 か月連続と、かなり厳しい状態に陥っていた。残されたメンバーたちの表情に浮かんでいたのは不安の色。

「ここから落ちることはない。後は上がっていくだけだ。時間はかかるかもしれないが、少しずつでも前に進んでいこう」。

マネージャーに昇進した S . N はメンバーたちを鼓舞し、密にコミュニケーションを取りながら不良の対策を考え続けた。さらには工場内の暗い空気を振り払うように、意識して前向きな言葉を発するようにしたという。徐々に従業員が増え、利益が回復していった。

「今のメンバーは、その辛い時期を共に耐え抜いてくれた人たちです。役員の方をはじめ、皆で団結して踏ん張れたおかげで、今の桑名工場があると思っています」。

まだ改善点はあるものの、明るい兆しの中で仕事ができている現状を見て、S . N は改めてまわりの支えの大きさを感じている。

目指すのは利益率 〇%

桑名工場が目指すのは利益率 〇% の壁を突破することだ。現状は 〇% あり、自動車産業の中で見れば十分な数字といえるだろう。目標数値が高いのは百も承知の上だ。それでも、実現に向けて努力することで工場経営の安定化、ひいてはメンバーの待遇改善へと繋がっていくのだと思えば、歩みを止める理由はない。

「会長のおっしゃる『知恵』と『技術』で、目標数値を目指していきたい」と S . N は語る。



さらに、「やりがいがあり、働きやすい職場」環境の構築を進める。有給取得率を向上させ、プライベートを充実させられるように働きかけている。ほかにも設備や環境面で気になる点があれば、メンバーからも意見が上がってくるようになった。意見交換が活発化し、より良い環境を構築しようと、皆が一丸となって取り組んでいる。

「ハンダ塾」を通し、仲間の大切さを知った S . N 。皆と共に苦しい時代を乗り越え、その熱い情熱で、これからもさらなる高みを目指していくことだろう。

S . N さんって どんな人？



タイ工場
マネージャー
M . I さん

S . N さんは私にとって……

見た目は「強面」、中身は「弟」

初対面の印象は強面で少し近寄りたがたい印象ですが、実はとても素直で、まるで「弟」のような存在です。困ったことがあれば、休みの日でも素直に相談してくるところが、そう思われます。

ここがすごい！

どんな仕事にも真正面から向き合い、最後まで責任を持ってやり遂げます。負けず嫌いで努力を惜みず、成果を出すまで考え抜く。また、わからないことは素直に相談する柔軟性も持ち合わせています。その誠実な人柄と仕事ぶりは、信頼に値するものです。

Message

強面でも心は熱く、仕事に真摯に向き合うスタイルは S . N さんの成長意欲の表れです。お酒は飲めなくても仕事の切れ味は抜群！今後もそのギャップと努力で周囲を驚かせ、困難を乗り越え、共に成長していきたいと思います。応援しています。

ありがとうメッセージ

日々の業務の中で感じる「ありがとう」の気持ちを、面に向かって相手に伝える機会はなかなか少ないもの。上司、先輩、同期、後輩……いつも一緒に頑張る仲間へ、感謝の気持ちを言葉にして伝えます！

To 堺工場 S サブマネージャー

手の回らないところをサポートしてくださり、ありがとうございます！

大阪工場から堺工場へ、排ガス管の移管があります。業者との打ち合わせや他工場のすり合わせなど、私が手の回らないところのサポート全般を行っています。また、堺工場での業務が終わった後も、積極的に大阪工場へ手伝いに来てくれ、塗装やサンダー作業など、汚れる作業も積極的に手伝ってくれており、本当に助かっています。そういった姿を見た板金部門メンバーたちにとっても、やる気にもつながっています。



いつも手伝いや差し入れの飲み物をありがたうございます！排ガス管メンバー全員が、本当に感謝しております。移管を成功させ、排ガス管業務を軌道に乗せるのが思返しだと思っています。メンバー一同頑張りますので、これからもよろしくお願いします。

From

堺工場 Y.Y さん



To 本社・大阪工場の皆さん

メンバーの一員として歓迎してくださり、ありがとうございます！

他工場の所属でありながらも、本社・大阪工場の一員として対応していただいていることを、とてもありがたく思っています！仕事のやり方を教えていただいたり、イベントに呼んでいただいたり、笑顔で対応していただいていること、本当に感謝しています。



仕事をしやすい環境を作ってくれている本社・大阪工場の皆さん、どんなときも助けてくださり、ありがたうございます。心から感謝しています。仕事や経験で少しでもお返しできればと思っていますので、今後ともよろしくお願いします！

From

篠山工場 T.M さん



To 桑名工場の皆さん

桑名工場をより良くするために奮闘してくださり、ありがとうございます！

いつも厳しい指導を行っています。桑名工場のメンバーは歯を食いしばって頑張ってくれています。新しいメンバーも多く加わり、以前と比べて職場の雰囲気も明るくなりました。一人ひとりが桑名工場を良くするために、何をすべきかを日々考えてくれており、私が進めたいこと事案に関しても、前向きに捉えて精いっぱい取り組んでくれています。皆さんのおかげでマネージャー職を続けられていますので、毎日感謝の気持ちでいっぱいです。



桑名工場のメンバーの助けがあってこそ、桑名工場の運営ができています。楽しく働かせていただいています。今後も桑名工場のメンバーへの感謝の気持ちを忘れずに、仕事に取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします！

From

桑名工場 マネージャー S.N さん



次の休みはどこへ行く？

おすすめ旅行プラン

連休の予定を考えるのは、仕事の合間の楽しみの一つ。しかし、他の人がどんな休日を過ごしているのかは、意外と知らないものです。今回は、お二人の対照的な旅行スタイルをご紹介します。あなたの知らない、新しい休日の過ごし方のヒントが見つかるかもしれません。



春日井工場 営業グループ
営業チームリーダー

H.K さん

TOKYO SKYTREE TOWN周辺！

TOKYO SKYTREE TOWN内にあるプラネタリウムで「イタリア星空散歩」を鑑賞し、そこから歩いて10分ほどのところにある銭湯「黄金湯」でサウナと入浴。



印象的なエピソード！

黄金湯は1932年に創業した老舗の銭湯で、数年前に大規模なリニューアルがされ、DJブースやビアバーがあったり、イベントなどが開催されたりして、若者に大人気！行った日も、女性限定のイベントを開催しており、男性風呂も並んで入りました。

おすすめポイント！

プラネタリウムで涼みながらヒーリング効果を感じ、気持ちを落ち着かせ、銭湯で100℃越えのサウナと水風呂で体を整え、心も体も最高のリフレッシュができます。



稲沢工場 フライス課

I.I さん

シンガポール！

マリナベイやマライオン、アラブストリートなど定番のスポットを観光しました。有名なマリナベイサンズに宿泊し、高級ホテルならではのサービスや噴水ショーを見ることができ、とても楽しい思い出になりました。日本ではできないカジノで遊んだことも、とても印象的です。



印象的なエピソード！

帰りの飛行機が現地の早朝に出発だったため、最終日のホテルは取らず、空港で寝泊りをしたところ、空港にお土産をすべて忘れるという大きなハプニングがありました。パスポートや財布などを忘れることはなく、無事帰国はできたのですが、危ないハプニングでした。



おすすめポイント！

直行便が関西国際空港から出ており、比較的行きやすいと思います。また、有名な観光地は比較的綺麗で、日本語の表示があるところもあり、とても便利です。

社長の小部屋 vol.2

感動の旅行体験はありますか？

家族で行った夏の北海道

**壮大な景色を見てリフレッシュ！
家族サービス也大成功**

2019年7月に家族で行った北海道です。小樽、積丹半島、江別、富良野、トマムなどの地域を観光しました。特に、積丹半島の絶景を見たときは、日頃の疲れが吹き飛び、「もっと広い心を持って経営を行わなくては」と思いました。社長に就任してからより忙しい日々が続いている中で家族旅行ができたこと、子どもたちが喜んで全力で楽しんでくれたことを嬉しく思いました。

旅のハプニング

**絶品料理を前に、
コンディション悪化……**

初日の小樽での夕食は、今回の旅行で最も奮発した食事でした。新鮮で高級な魚介類がたくさん並び、堪能したいと思っていましたが、口内が荒れてしまっていて、舌も炎症を起こしており、何を食べても味がしない。そのため、食欲が湧かず箸が進まない。日本酒を3合飲んで、食事を終えました。私の分の料理は、子どもたちが喜んで食べてくれたのが救いでした。

